

1 「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」の骨子（案）

1. 「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」の概要

(1) 必要性

・そもそも国や地方自治体が公開している文書は日本人にとっても難解なものが多い。

・やさしい日本語への取組のきっかけ

阪神・淡路大震災以降、やさしい日本語の取組が始まり、その後、新潟県中越地震を経て、やさしい日本語の普及が進んだ。この間の外国人支援対応を振り返った時に、やさしい日本語の重要性を改めて認識

また、熊本地震の際、避難所でベトナム人と日本人がコミュニケーションをとれずお互いに距離を置いていたことがあり、その原因の一つとして、日本人側が「やさしい日本語」を認識していなかったことが指摘されている。

外国人、日本人双方に「やさしい日本語」の認識を高めてもらう必要がある。

・在留外国人の現状

在留外国人数の増加（ニューカマーの顕著な増加）、多国籍化、在留資格の多様化
情報を発信する際、多言語化には限界がある。また就業場所や居住地域等の環境要因により、日本語学習機会に差がある。

・外国人のやさしい日本語の理解度

日常生活に困らない程度に日本語会話が可能な外国人は約82%、日常生活に困らない言語を日本語とした外国人は約62%。

日本語能力の高い外国人に常に「やさしい日本語」を使う必要はないが、そうでない外国人には、「やさしい日本語」の方が伝わることもある。

一方で、やさしい日本語が、多言語化や外国人住民への日本語学習機会の提供のプレーキになってはならず、コミュニケーションの導入として「やさしい日本語」を使い、複雑な話をする際は、多言語化された資料を用意する、通訳を依頼するなど、使い分けが必要である。

・総合的対応策

共生社会の実現に向けたやさしい日本語の活用を促進するため、有識者会議の開催、ガイドラインの作成。

(2) 目的

・ガイドラインが目指すもの

外国人の在留支援のために必要となる情報を、国や地方の行政機関が外国人向けに発信するときに、「やさしい日本語」をさらに活用してもらうことを目指す。

日本人にとっても行政文書は分かりにくいことから、日本人にとって平易で分かりやすい日本語（中間段階）、「在留支援のためのやさしい日本語」の二段階の作業が必要。

やさしい日本語は、日本語の美しさや豊かさを軽視するものではなく、ユニバーサルな観点から、日本語を使って、コミュニケーションを取り、ものごとを伝えようとするものである。

・対象

国や地方自治体が外国人に必要な情報を中心に、発信する文書や通知等（紙媒体だけでなく、インターネットでの発信も想定）。

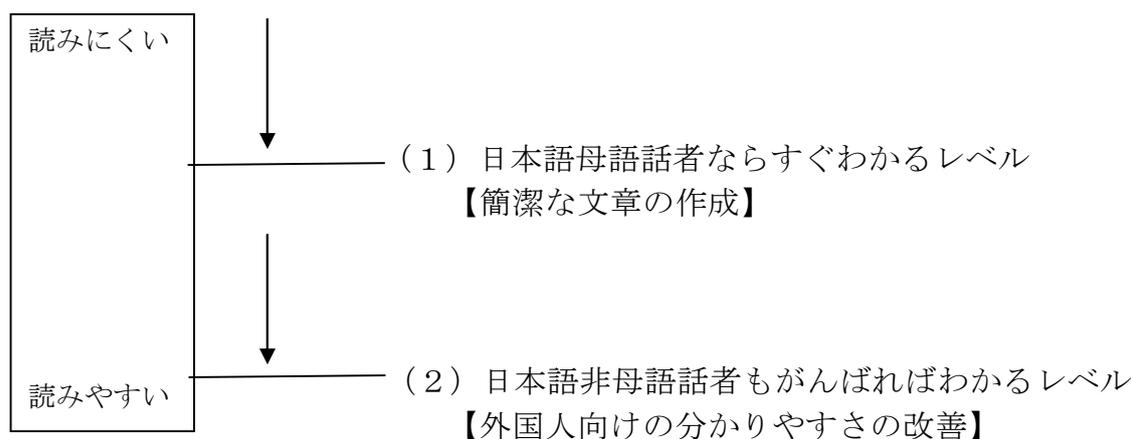
行政が対象であるが、学校、外国人の労働者を雇用する企業等での活用も期待される。

日本語レベルについては、（〇〇のレベルを中心として）対象とする外国人の日本語レベルに合わせて調整する。

2. 「在留支援のためのやさしい日本語」の作り方のポイント

・簡潔な文章の作成

・外国人向けの分かりやすさの改善



(1) 簡潔な文章の作成

【文章全体のポイント】

① 伝えたいことを整理し、情報を取捨選択する。

・想定する読み手を絞って、それにふさわしいやさしい日本語のレベルを設定する。

その上で、相手に何を促したいのか、という視点から整理する。

・一言一句を元の文に対応させて作るのではなく、伝えるべきことは何かを考え、受け手にとって必要な情報にする。

② 過度に形式的な尊敬語・謙譲語を用いない。

75 ③ 細かすぎる情報提示は控える。

76

77 ④ 過度に抽象的で、回りくどい言い方や不要な繰り返しはしない。

78

79 ⑤ 三つ以上の論点を並べるときは箇条書きなどを利用する。

80 ・接続詞はなるべく使用せず、箇条書きにして記載する。

81

82 【文を書くポイント】

83 ① 一文は短くする（言いたいことを一つだけ入れる。）。

84 ・主語と述語を明確にする。

85 ・日本語がまだ不慣れな外国人にとって一文の中から複数の意味を理解するのは難しい。

86

87 ② 二重否定はしない。

88 ・「・・・ないことはない」、「・・・ないわけではない」、「・・・以上／以外は必要ない」の二重否定の表現は混乱を招きやすい表現である。

89

90 ③ 受け身形や使役表現をできるだけ使わない。

91

92 【言葉の選び方】

93 ① 漢語をできるだけ使わず、和語を使う。

94

95 ② 「外来語言い換え提案」を守る。

96

97 (2) 外国人向けの分かりやすさの改善

98 【文をわかりやすくする】

99 ① 文末表現は統一する「です。ます。」。尊敬語、謙譲語は使わない。

100 ・尊敬語、謙譲語は（原則として）使わず、敬語は丁寧語だけにする。

101 ・可能 → することができます。

102 ・不可能 → できません。

103 ・指示 → 「～ましょう」は勧誘の意味もあるので「～してください」あるいは「～しなければなりません」を使う。

104

105 ② 曖昧な表現は避ける。（×「おそらく」「たぶん」「思われます」）

106 ・曖昧な時間や数字を表す表現（例：「くらい」「ごろ」「ばかり」「ほど」「など」「あたり」）は使わない。

107 ・断定的な表現を避けた推測表現（例：「おそらく」「たぶん」「ようです」「では

112 ないでしょうか」「可能性があります」「おそれがあります」)を避ける。

113 ・断定的な表現が問題となる場合には「～かもしれません」を使う。

114 ・複数の意味を持つ表現は使わない。

115

116 ③ 可能な限り、読者（外国人）を主語とし、能動文にする。

117 （文脈や状況による。）

118

119 ④ 動詞を名詞化して使用せず、できるだけ動詞のままで文章にする。

120 ・例：揺れがありました → 揺れました

121

122 【言葉に気を付ける】

123 ① 難しい言葉を避け、簡単な言葉を使用する。

124 ・方向を表す「へ」と「に」を「へ」に統一する。

125 ・難しい単語は使わない。

126 ・専門用語は避ける。

127 ・俗語・若者言葉・慣用句は普通語に置き換える。

128 ・方言は共通語に置き換える。

129 ・抽象的な言葉は具体的な表現に変える。

130 ・略語は元の言葉に戻す。

131 （語彙は「生活・仕事ガイドブック（やさしい日本語版）」程度）

132 ・ローマ字は使用しない。（外国人は、必ずしもローマ字を日本語の発音通りに読め
133 ない。）

134

135 ② 外来語（カタカナ語）はなるべく使わない。

136 ・原語と意味や発音の異なるものが多いため、使用するときは注意する。

137 ・「バス」、「ガス」、「テレビ」など、外来語以外で表現が難しいものは使用可。

138

139 ③ 擬態語や擬音語（オノマトペ）は、できるだけ使わない。

140

141 ④ 重要な言葉はそのまま使用し、<>で書き換える。

142 ・言い換えが難しいときは言葉の説明をする。

143 ・災害用語や日常生活でよく使う言葉など、知っておくとよい言葉はそのまま使い、
144 言葉の後に説明を加える。

145 例①：余震に対して十分に注意してください。

146 →余震<後から来る地震>に気をつけてください。

147 例②：「健康保険証」→健康保険証<病院で使うカード>

148

149 【文字や表記に注意する】

150 ① 漢字の使用量に注意し、ルビ（ふりがな）をつける。

151 ・すべての漢字にはルビ（ふりがな）をつける。ルビのサイズ，文字とルビ，文と文
152 の行間を見やすくする。

153 ・漢字の上，できない場合は漢字の後ろにかっこ書きでつける。

154 ・対象とする外国人の言語背景によって，漢字かな交じり文，ひらがな文の複数の表
155 記を準備してもよい。

156

157 ② 文節ごとに余白を空けて区切り，「分かち書き」にする。

158 ・分かち書きとは単語と単語の間に余白を設けることで，読みやすくする。（文の途
159 中に「ね」や「さ」などのことばを入れて不自然にならないところで分かち書きをす
160 る。）

161

162 ③ 時間や年月日の表記はわかりやすくする。（西暦，午前・午後）

163 ・時間は1 2時間表示を原則とし，午前・午後を明記する。または時間は2 4時間表記
164 とする。

165 ・年月日の表記に「/」は使わない。

166 ・元号は使わずに西暦を使う。

167 ・「～」は使用せずに「から・・・まで」と表記。

168 ・年度は，可能な限り，具体的に「〇〇年〇月〇日から△△年△月△日まで」とする。

169 難しいときは，最初に言葉が出てきたときに説明をする。

170

171 ④ イラスト，写真，図や記号を使って分かりやすくする。

172

173 (3) チェック

174 完成したら，日本語教師や外国人に，分かりやすさ，伝わりやすさをチェックして
175 もらうとよい。

176

177 ※「日本人」は，日本語ネイティブ（日本語母語話者），「外国人」は，日本語非ネイテ
178 ィブ（日本語非母語話者）を表すことを注で入れる。

179

180 3. 書き換えツール

181 ・例えば，「リーディングチュウ太」，「やんしす」，「やさいちチェッカー」
182 など

183

184 4. 「やさしい日本語」変換例

185

- 186 付録
187 ・「やさしい日本語」用語集